

2020 年度 教育 研究 活動 報告 用 紙 (様式 9)

氏名	水貝 洵子	職名	講師	学位	臨床心理修士 (専門職)
----	-------	----	----	----	--------------

研究分野	研究内容のキーワード
臨床心理学	青年期 発達障害児者 生涯発達 アクションメソッド

研究課題
青年期前期後期における発達障害者への臨床心理学的支援の在り方について検討を行う。 特に、臨床動作法や心理劇などのアクションメソッドを用いた支援の在り方について検討を行う。

担当授業科目
<p>ヒューマンサービス基礎演習 (福祉学科, 前期)</p> <p>初年次セミナー I (福祉学科, 前期)</p> <p>家族心理学演習 (福祉学科, 前期)</p> <p>保育の心理学 II (福祉学科, 前期)</p> <p>対人関係論 (看護学科, 前期)</p> <p>初年次セミナー II (福祉学科, 後期)</p> <p>臨床心理学概論 (福祉学科, 後期)</p> <p>発達臨床心理学 (福祉学科, 後期)</p> <p>認知行動療法基礎演習 (福祉学科, 後期)</p> <p>臨床健康心理学 (看護学科, 後期)</p> <p>専門研究 I (福祉学科, 通年)</p> <p>専門研究 II (福祉学科, 通年)</p>

授業を行う上で工夫した事項 (※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
<p>授業科目名【ヒューマンサービス基礎演習】</p> <p>対人援助に関する専門知識を学習するうえでの基礎的態度の涵養を目的として、各授業回では、これまでの自身の経験を振り返るなどの自己理解を深めるワークを実施した。1年生は互いのことを知らないまま遠隔にてワークをすることとなったため、緊張感が高いことが推測された。そのため、遠隔でも実施できる自己紹介ワーク等を適宜実施して緊張感を低減し、自己理解が深まりやすい心理状態となるよう配慮した。</p>
<p>授業科目名【家族心理学演習】</p> <p>家族の成立から、その後の家族がたどる発達段階についてその特徴や課題、支援の在り方についての解説を行った。事例などを提示して、受講学生にとって、より実践的に家族の特徴や課題を捉え、支援について考える機会となるよう心掛けた。</p>
<p>授業科目名【保育の心理学 II】</p> <p>乳幼児の発達に関する解説では、具体的な子どもの様子を伝えたり映像を見せるなどして、学生の理解が得られやすいよう配慮した。また、発達状況にあわせた適切な関わり方について学生自身が考える機会を設けた。子どもへの一律的な対応でなく、個性や発達状況に応じた関りについて考えることの重要性について伝えた。</p>
<p>授業科目名【対人関係論】</p> <p>1年生を対象に看護の対人関係の基礎となる心理学的理論や知識について解説を行った。心理学を学習するのは初めての学生が多いと考えられたため、学生からの各授業への質問や感想などに対し、次の授業で回答や解説を行った。相互的なやり取りを増やし、学生の理解が促されやすいよう配慮した。</p>

<p>授業科目名【臨床心理学概論】</p> <p>1年生を対象に臨床心理学の基礎的理論について解説を行った。学生からの各授業への質問や感想などに対し、次の授業で回答や解説を行うなどして、学生の知識の定着や理解の深まりをはかった。</p>
<p>授業科目名【発達臨床心理学】</p> <p>発達障害当事者の手記などを題材として、障害当事者の体験理解を目指した。少人数の授業であったため、資料を読んで考えたことなどの意見交換の場を多く設けた。障害に対し多面的に考える機会となるような様々な事例を提示した。</p>
<p>授業科目名【認知行動療法基礎演習】</p> <p>認知行動療法について初めて学習する受講学生もいたため、授業前半では基礎的な用語や理論について時間をかけて解説した。後半は、医療や福祉など様々な領域において実践された事例を紹介し、学生が学習した知識や理論をどのように実践臨床の場で活かしていくのかイメージできるように工夫した。</p>
<p>授業科目名【臨床健康心理学】</p> <p>臨床心理学についての基礎知識および医療現場で出会う患者の心理についての解説を行った。受講生によって臨床心理学に関する基礎知識への理解度の差がみられたため、基礎的な内容について解説を行うとともに、医療現場ではどのように活かされるのか具体例を挙げたり、適切な対応例を挙げるなどして発展的な内容となるよう配慮した。</p>
<p>授業科目名【初年次セミナーⅠ・Ⅱ】</p> <p>受講学生の提出した課題に対し、学生の中で多かった回答内容や模範となる回答内容などを示しながら、ポイントの解説を行った。課題に関して教員と学生間で一方的なやり取りに限定されないよう、上記のような方法で課題に対するフィードバックを行うなど受講学生との相互的なやり取りを心がけた。</p>
<p>授業科目名【専門研究Ⅰ・Ⅱ】</p> <p>学生の興味関心のあるテーマに沿って文献を選択し、そのテーマや領域での基本的概念の整理や課題の検討を行った。学生が意欲的に学習に取り組めるよう、学生それぞれの興味関心に応じ文献を選択してもらった。</p>

学 会 に お け る 活 動		
所属学会等の名称	役職名等（任期）	加入時期
日本臨床心理劇学会		2010年4月～現在に至る
日本リハビリテーション心理学会		2010年4月～現在に至る
日本心理臨床学会		2013年4月～現在に至る
日本発達心理学会		2016年4月～現在に至る
特殊教育学学会		2016年4月～現在に至る
日本心理学会		2019年4月～現在に至る

2020年度 研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
(学術論文)				
(翻訳)				
(学会発表)				

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(1) 共同研究			
研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（）内は学外者	交付決定額 (単位：円)

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(2) 個人研究			
研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考

社会における活動等		
団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等	任期 期間等
九州大学大学院人間環境学府附属総合臨床心理センター	研究員	2020年4月～2021年3月
大分県立病院	非常勤心理士	2019年4月～現在に至る

学内における活動等（役職、委員、学生支援など）
学生個人情報保護委員会 2020年4月～2021年3月